

高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第21週（5月18日～5月24日）

★お知らせ

○手足口病に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第20週の1.20から第21週で2.40と増加しています。幡多では警報値を超え、中央西と中央東では注意報値を超えています。ヘルパンギーナの報告数も増えてきています。これから注意が必要な時期ですので、食事前やトイレ後の手洗いなど、感染予防対策を心がけてください。

この病気は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患であり、2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。

学童以上の年齢層の大半はすでにこれらのウイルスの感染（不顕性感染も含む）を受けている場合が多いので、成人の発症はあまり見られません。

通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができ、時に肘、膝、臀部などにも出現します。

ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。

また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の届出がありました！

今年初めての重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の届出が第22週に1例ありました。

マダニを介しての感染が中心で、咬まれないようにすることが重要です。農作業や庭仕事、レジャーなど野外で活動する際には、長袖、長ズボンなどを着用して皮膚の露出を避け、肌が出る部分には防虫スプレーを噴霧するなどしてダニの付着を防いでください。吸血中のマダニを見つけた場合は、できるだけ医療機関で措置し、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診してください。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第20週の4.13から第21週では4.50と横ばいですが、今後も手洗いの徹底等の感染予防をしてください。

感染症予防の基本は、

★★★手洗いから★★★

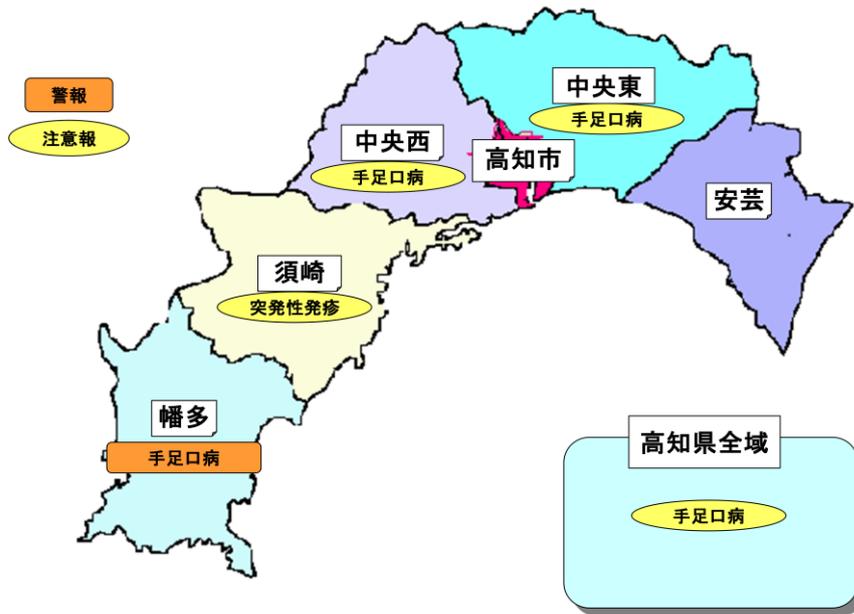
調理時や食事前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
21週（5月18日～5月24日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		4.50	中央西、幡多、中央東、高知市では増加しています。
手足口病		2.40	安芸以外で増加し、幡多では警報値を超え、中央西、中央東では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.00	中央東で増加しています。
突発性発疹		0.60	須崎、中央西、中央東で増加し、須崎では注意報値を超えています。
流行性耳下腺炎		0.40	幡多で増加しています。

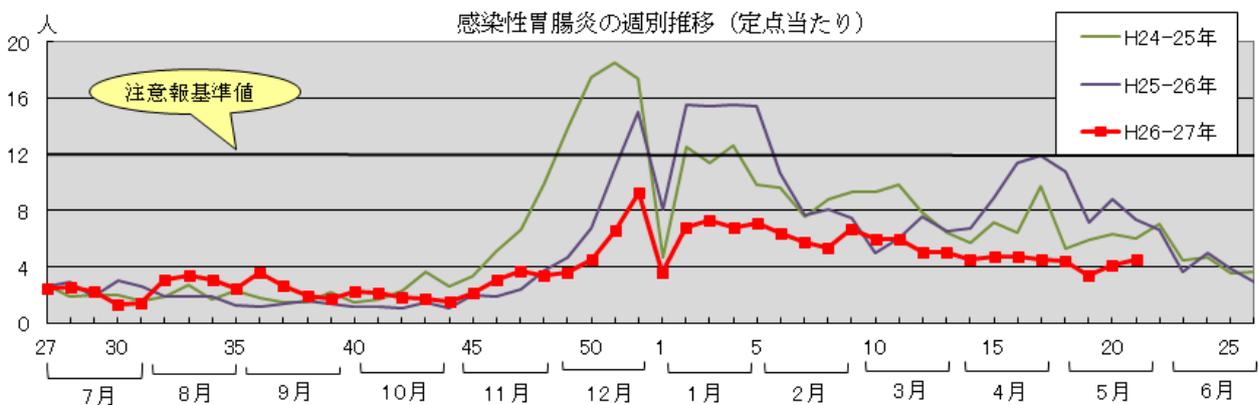
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

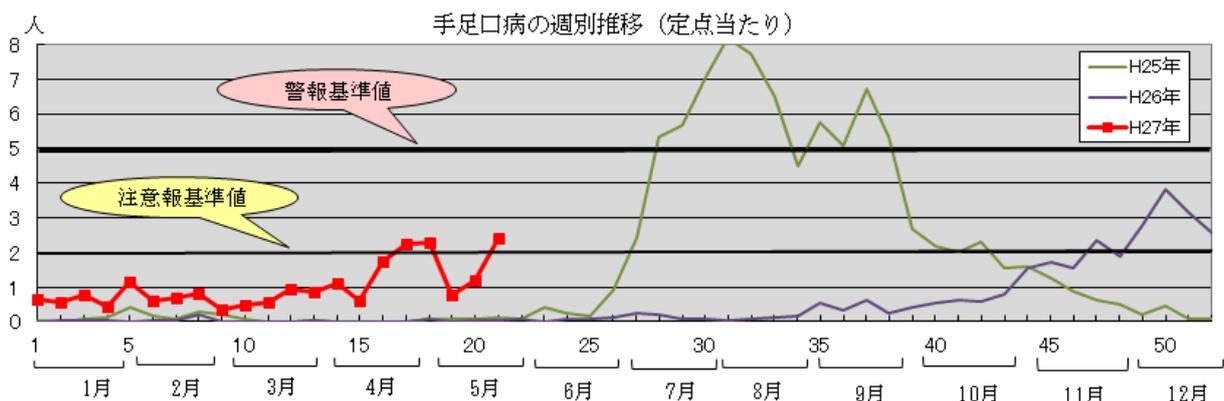
○感染性胃腸炎：4.50（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 4.50（前週：4.13）と増加しています。地域別にみると、中央西（5.67：前週 1.67）、幡多（5.20：前週 5.00）、中央東（4.71：前週 4.14）、高知市（4.27：前週 4.00）、で増加しています。



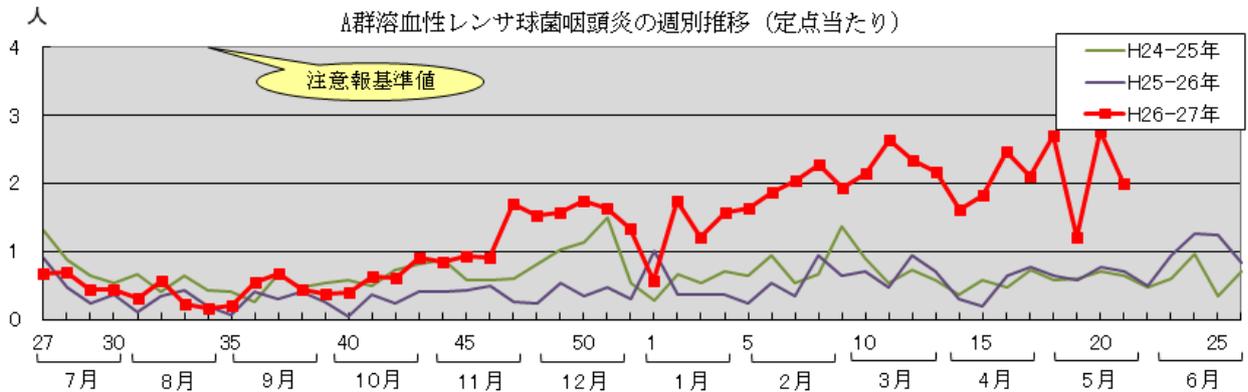
○手足口病：2.40（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.40（前週 1.20）と増加しています。地域別にみると幡多（6.80：前週 4.00）、中央西（3.00：前週 1.33）、中央東（2.29：前週 0.29）、須崎（1.50：前週 0.50）高知市（0.82：前週 0.27）で増加し、幡多では警報値を超えています。中央西、中央東では注意報値を超えています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2.00（注意報値：4.00 警報値：8.00）

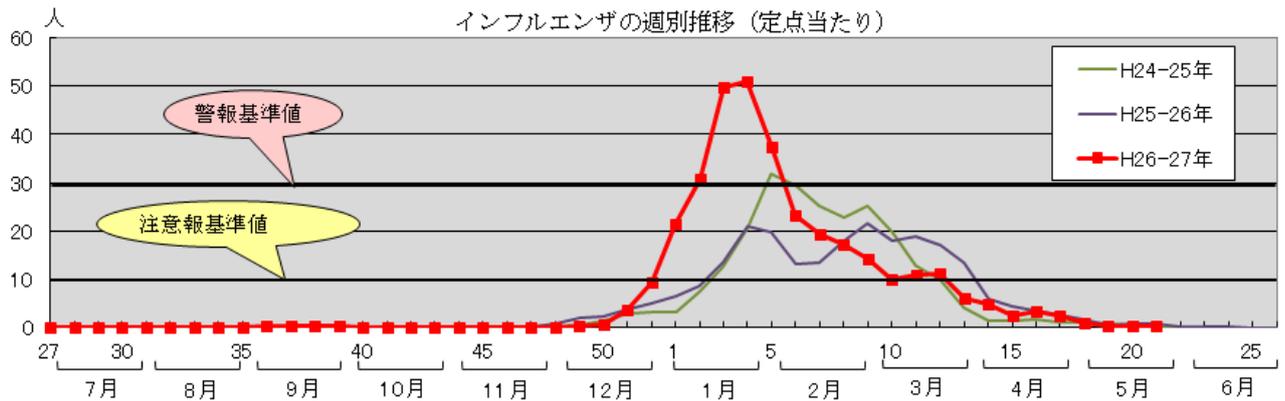
定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.00(前週 2.77)と減少しています。地域別にみると中央東(1.00:前週 0.71)で増加しています。



○インフルエンザ：0.25（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.25（前週：0.42）と減少しています。

昨年度の12月から全国的にA香港型が急激なまん延を見せ、高知県でも例年より多くの患者が3月にかけて発生しました。その後、流行の主体がB型に変わり、6月近くになり、ようやく今回の流行シーズンが終わろうとする時期にきました。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
21	インフルエンザ	10	女	高知市	Influenza virus B NT
21	感染性胃腸炎	5	男	高知市	Norovirus GII NT
21	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Norovirus GII NT
21	感染性胃腸炎	1	女	高知市	Sapovirus genogroup unknown
21	百日咳	5	男	幡多	Mycoplasma pneumoniae
21	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	女	高知市	Streptococcus pyogenes T6
21	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	男	高知市	Streptococcus pyogenes TB3264

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
18	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Coxsackievirus A16
20	不明発疹症	1	男	須崎	Adenovirus NT
20	不明熱	1	男	須崎	Adenovirus NT
20	無菌性髄膜炎	10	男	高知市	Echovirus 18
20	不明発疹症	1	女	須崎	Echovirus 18
20	不明発疹症	2	男	須崎	Human herpes virus 7
20	不明発疹症	3	女	須崎	Human herpes virus 7
20	肺炎 白血病治療中	2	女	高知市	Rhinovirus
20	急性肺炎	7ヶ月	女	高知市	Rhinovirus
20	感染性胃腸炎	2	女	高知市	Rotavirus group A G1

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	59	80歳代(女)	幡多
		1	60	60歳代(女)	高知市
		1	61	80歳代(男)	中央西
		1	62	60歳代(女)	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	hMPV1例(1歳女)
中央東	早明浦病院小児科	某保育園で溶連菌感染症増多
	高知医大医学部附属病院小児科	ロタ腸炎1例(4歳女)
高知市	高知医療センター小児科	ノロウイルス1例(1歳男) ロタウイルス1例(1歳女) 病原性大腸菌6例(0歳0ヶ月男2人、0歳1ヶ月女、0歳4ヶ月男、3歳女、14歳男)
	三愛病院小児科	アデノウイルス2例(0歳男、5歳男)
	けら小児科・アレルギー科	ロタウイルス腸炎1例(2歳男) アデノウイルス扁桃炎1例(1歳女) hMPV肺炎3例(0歳男、3歳男女)
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザB型1例 感染性胃腸炎1例(2歳男)
中央西	石黒小児科	単純性ヘルペス1例(5歳女)
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎1例(2歳男) アデノウイルス滲出性扁桃炎1例(2歳男) カンピロバクター腸炎3例(11ヶ月、10歳、11歳)※20週検出
幡多	幡多けんみん病院小児科	hMPV3例(1歳男女、3歳女) ロタウイルス5例(1歳女3人、2歳女、3歳男)
	こいけクリニック	hMPV1例(1歳男)
	さたけ小児科	ロタウイルス1例(1歳男) hMPV1例(0歳男)(高知市)

★全国情報

第18週(4/27~5/3)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核318例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症14例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎5例、A型肝炎2例、重症熱性血小板減少症候群2例、つつが虫病2例、デング熱3例、日本紅斑熱1例、ライム病1例、レジオネラ症19例

5類感染症：アメーバ赤痢14例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群8例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、侵襲性肺炎球菌感染症41例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒17例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん3例、麻しん3例

報告遅れ：E型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症5例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、水痘（入院例に限る）3例、播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

第19週（5/4～5/10）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核177例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症7例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎4例、つつが虫病2例、デング熱1例、マラリア1例、レジオネラ症8例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎2例、後天性免疫不全症候群7例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症39例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒25例、破傷風3例、風しん2例、麻しん1例

報告遅れ：重症熱性血小板減少症候群1例、デング熱2例、日本紅斑熱2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症4例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、水痘（入院例に限る）2例、播種性クリプトコックス症1例

◆梅毒2015年4月までの報告数増加と疫学的特徴

2008～2014年にかけて、感染症法に基づく医師の届出による梅毒症例の報告は増加した。

その傾向は本年も続いている。本稿においては、報告に基づく直近の流行の概要に関する情報を提供することを目的とした。

2015年4月30日時点で、2015年第1週から第17週（2014年12月29日～2015年4月26日）までに診断され報告された梅毒症例数を昨年同時期と比較した。この期間、615例の報告があり、昨年同時期の1.3倍であった。性別は男性447例、女性168例でそれぞれ昨年同時期の1.2倍、1.8倍となり、女性の増加が顕著であった。

感染経路別では、男性は異性間性的接触が180例（昨年同時期比1.6倍）、同性間性的接触が154例（同0.9倍）の報告であった。また、女性の異性間性的接触は118例（同1.9倍）であった。男性の同性間性的接触による感染の報告数増加は2010～2013年にはみられたが、本年は、昨年同時期と比較して男女ともに異性間性的接触による感染の報告数増加が確認された。

病型は早期顕症梅毒が、男性で282例（昨年同時期比1.4倍）、女性で94例（同2.6倍）と増加した。

女性の年齢分布は従来と変わらず15～35歳が約6割を超えるが、特に15～25歳では75例（同3.0倍）と報告数が増加した。さらに今年、先天梅毒が既に5例報告されており、母子伝播による先天梅毒報告の増加にも注意が必要である。

2015年第17週までの梅毒報告数の昨年同時期との比較から、異性間性的接触による感染者数の増加と、若年女性での増加が観察された。このような動向に注意しながら、特にリスクが高い集団に対する啓発活動が重要である。具体的には、不特定多数の人との性的接触はリスク因子であり、コンドームを適切に使用しないことがリスクを高めること、オーラルセックスやアナルセックスでも感染すること、終生免疫は得られず再感染することなどが他のリスクとして挙げられる⁹⁾。感染が疑われる症状のみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受けることが望ましい。診断した医師は梅毒の報告を行うとともに、患者ばかりでなく必要に応じてその性行為パートナーに対する教育、検査等を行うことが重要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第21週 平成27年5月18日(月)～平成27年5月24日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第21週					計	前週	全国(20週)	高知県(21週末累計)		全国(20週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H26/12/29～H27/5/24	
インフルエンザ	インフルエンザ			1	6	2		3	12 (0.25)	20 (0.42)	2,906 (0.59)	15,251 (317.73)	1,139,044 (231.18)
小児科	咽頭結膜熱								()	5 (0.17)	1,762 (0.56)	49 (1.63)	21,211 (6.75)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	7	34	2	5	11	60 (2.00)	83 (2.77)	10,840 (3.43)	1,222 (40.73)	159,286 (50.66)	
	感染性胃腸炎	6	33	47	17	6	26	135 (4.50)	124 (4.13)	21,341 (6.76)	3,378 (112.60)	434,731 (138.27)	
	水痘		1	5			2	9 (0.30)	9 (0.30)	1,582 (0.50)	250 (8.33)	33,073 (10.52)	
	手足口病	1	16	9	9	3	34	72 (2.40)	36 (1.20)	3,400 (1.08)	636 (21.20)	32,168 (10.23)	
	伝染性紅斑	1	3		1			5 (0.17)	1 (0.03)	2,259 (0.72)	38 (1.27)	28,372 (9.02)	
	突発性発疹	1	3	5	3	4	2	18 (0.60)	12 (0.40)	2,019 (0.64)	239 (7.97)	29,205 (9.29)	
	百日咳							()	()	62 (0.02)	8 (0.27)	719 (0.23)	
	ヘルパンギーナ		3	1			1	6 (0.20)	2 (0.07)	608 (0.19)	25 (0.83)	3,088 (0.98)	
	流行性耳下腺炎	2	1	5				4	12 (0.40)	23 (0.77)	1,289 (0.41)	395 (13.17)	19,890 (6.33)
RSウイルス感染症		1			3		2	6 (0.20)	()	305 (0.10)	373 (12.43)	27,705 (8.81)	
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	8 (0.01)	()	172 (0.25)	
	流行性角結膜炎							()	()	406 (0.59)	5 (1.67)	6,083 (8.88)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	6 (0.01)	5 (0.63)	159 (0.33)	
	無菌性髄膜炎	1						1 (0.13)	1 (0.13)	16 (0.03)	8 (1.00)	274 (0.58)	
	マイコプラズマ肺炎			6				2	8 (1.00)	5 (0.63)	118 (0.25)	75 (9.38)	2,165 (4.56)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2				2 (0.25)	3 (0.38)	10 (0.02)	18 (2.25)	132 (0.28)	
	感染性胃腸炎		1	2				3 (0.38)	4 (0.50)	175 (0.37)	48 (6.00)	3,247 (6.84)	
計 (小児科定点当たり人数)	13 (6.00)	70 (9.80)	122 (10.00)	37 (12.07)	21 (10.50)	86 (16.58)	349 (11.02)			49,112	22,023 (538.16)	1,940,724	
前週 (小児科定点当たり人数)	32 (16.00)	43 (6.03)	133 (11.11)	14 (4.53)	19 (9.50)	87 (15.78)		324 (10.26)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第21週					計	前週	全国(20週)	高知県(21週末累計)		全国(20週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H26/12/29～H27/5/24	
インフルエンザ	インフルエンザ		0.09	0.38	0.40		0.38	0.25	0.42	0.59	317.73	231.18	
小児科	咽頭結膜熱								0.17	0.56	1.63	6.75	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.00	3.09	0.67	2.50	2.20	2.00	2.77	3.43	40.73	50.66	
	感染性胃腸炎	3.00	4.71	4.27	5.67	3.00	5.20	4.50	4.13	6.76	112.60	138.27	
	水痘		0.14	0.45			1.00	0.20	0.30	0.50	8.33	10.52	
	手足口病	0.50	2.29	0.82	3.00	1.50	6.80	2.40	1.20	1.08	21.20	10.23	
	伝染性紅斑	0.50	0.43		0.33			0.17	0.03	0.72	1.27	9.02	
	突発性発疹	0.50	0.43	0.45	1.00	2.00	0.40	0.60	0.40	0.64	7.97	9.29	
	百日咳									0.02	0.27	0.23	
	ヘルパンギーナ		0.43	0.09		0.50	0.20	0.20	0.07	0.19	0.83	0.98	
	流行性耳下腺炎	1.00	0.14	0.45				0.80	0.40	0.41	13.17	6.33	
RSウイルス感染症		0.14			1.00		0.40	0.20	0.10	12.43	8.81		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.25	
	流行性角結膜炎									0.59	1.67	8.88	
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.63	0.33	
	無菌性髄膜炎	1.00						0.13	0.13	0.03	1.00	0.58	
	マイコプラズマ肺炎			1.20				2.00	1.00	0.63	0.25	9.38	4.56
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.40					0.25	0.38	0.02	2.25	0.28
	感染性胃腸炎		1.00	0.40					0.38	0.50	0.37	6.00	6.84
計 (小児科定点当たり人数)	6.00	9.80	10.00	12.07	10.50	16.58	11.02				538.16		
前週 (小児科定点当たり人数)	16.00	6.03	11.11	4.53	9.50	15.78		10.26					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869